

令和 2 年

第 3 回防府市議会定例会

一 般 質 問

6 月 1 8 日 ( 5 人 )

1 河村 孝 ・ 2 今津 誠一 ・ 3 山田 耕治 ・ 4 山根 祐二  
5 田中 健次

6 月 1 9 日 ( 5 人 )

6 曾我 好則 ・ 7 和田 敏明 ・ 8 清水 力志 ・ 9 山本 久江  
10 高砂 朋子

6 月 2 2 日 ( 4 人 )

11 吉村 祐太郎 ・ 12 三原 昭治 ・ 13 石田 卓成 ・ 14 上田 和夫

No.	1	河村 孝
質問事項		要 旨
1	新型コロナウイルス感染症対策の中での防災減災について	<p>新型コロナウイルス感染症の感染「第2波」「第3波」が懸念されている中、本格的な梅雨の季節、台風シーズンを迎えた。「避難所での感染が心配」という市民の声も多い。感染症対策の中での防災減災のご所見を伺う。</p> <p>(1) 令和元年度からスタートした河川の浚渫を行う緊急自然災害防止対策事業や向島ポンプ場建設、河川等防災監視カメラ設置事業などの自然災害対策のハード面の整備状況を伺う。</p> <p>(2) 「逃げ遅れ」を防ぐ、佐波川水害タイムラインの取組、防災士や自治会、自主防災組織などの連携強化など、ソフト面の整備状況を伺う。</p> <p>(3) 「3密」の条件がそろって避難所。消毒液など衛生用品の準備はもちろん、避難体制、分散避難の仕組みづくり、感染対策に効果がある段ボールベッドやパーティション等の備品拡充など、感染症対策の中での避難所運営を伺う。</p> <p>感染症対策の中での防災減災を、どのようにわかりやすく、市民に周知するのか伺う。</p>
2	全世代型社会保障における市の取組について	<p>人生100年時代に対応し、誰もが安心して暮らすことのできる全世代型社会保障制度の構築が注目されている。少子高齢化社会の中で、主に、子育て世代への支援と増える独居高齢者への支援について伺う。</p> <p>(1) 昨年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、喜びの声が多数寄せられる中、改善点も指摘されている。利用者からは、「保育の質の向上」と「受け皿の整備」についての要望が多く、事業所からは、「保育の質の向上」のために、「処遇改善」を求める声が多い。特に、配慮が必要なお子さんの受け皿としても、新型コロナウイルス感染症対策としても、公立保育所の重要性が指摘されている。今後の公立保育所のあり方など、ご所見を伺う。</p> <p>(2) 独居高齢者が増えている。高齢者の見まもりなど、地域における「つながり」の希薄化への対応が急務である。防災面でも重要。一人でいくつもの複合的な課題を抱える場合も多く、さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止で、課題が増えている。そのために、保健・医療・福祉分野だけではなく、生活分野あるいは警察など幅広い連携の強化・拡充が必要であると考えますが、ご所見を伺う。</p>

No.	2	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1	寄附金による犬猫不妊手術費補助金の増額	<p>犬猫不妊手術費助成制度は犬猫の無暗な繁殖を抑えるため設けられた。</p> <p>この度、ある市民からこの制度をさらに充実化し、実効を上げて戴きたいとして、1千万円の寄附の申し出があった。</p> <p>この制度は1件当たりの補助金額は3千円とされているが、これに5千円プラスし1件当たり8千円として貰いたいとのこと。</p> <p>このような奇特定の厚意に対しては、有難く受けるべきで、断る一片の理由もない。</p> <p>市内各地区から野犬に対する苦情が寄せられているが、これに応える対策でもある。</p> <p>是非、寄附金で制度の魅力アップと実効に繋げて貰いたい。</p>
2	旧商工会館に係る公有地賃貸借契約	<p>市と商工会議所間で締結された公有地賃貸借契約は、令和2年6月で満了する。</p> <p>建物も昭和35年に建設されたもので老朽化も著しく、会議所機能も完全に移転しており、更改はあり得ないと広く認識されている。</p> <p>契約満了後は老朽化した建物を解体し、公有地は民間に払い下げ、民活で周辺の開発を進めるという方針である。</p> <p>しかし会議所は、依然としてテナントとの賃貸借契約を継続するとの噂を聞いたが、万一本当なら、市との公有地賃貸借契約が終了しないことになるが、真相を尋ねる。</p>
3	新庁舎建設計画	<p>(1) 実施設計におけるそれぞれのパーツ（庁舎棟、福祉棟、立体駐車場等）の建設費</p> <p>(2) パブリックコメントについて</p> <p>(3) 各地区説明会の開催</p> <p>(4) その他諸課題について</p>

No.	3	山田 耕治
質問事項		要 旨
1 市の業務、相談体制の見直しについて	<p>(1) 新型コロナウイルスの影響で企業の業務内容も著しく変化している。リスク評価をどう次の変動に対応できるようにしていくか？を問われる中で、行政として業務体制や今後に向けた取組みは？</p> <p>(2) 感染拡大防止の観点から、各課の業務内容を見直し、在宅勤務を活用した職員体制で事務執行を行うことも考えるべきでは？</p> <p>(3) 新型コロナウイルスが終息した後の対応として、アルコール消毒液の設置やフェイスシールドマスクの対策等も今後は必要と考えるが如何か？</p> <p>(4) 今後、市民へ啓発していく施策等について、リスク評価も必要になってくると思う。今回の例を挙げると、オンライン申請での特別定額給付金（一律10万円）に関する対応は他市でも問題になっていたが、本市での問題点と今後の方針は？たとえば、公民館の機能充実を図り対応すること等、提案するが如何か？</p> <p>(5) 市民の皆様や各団体の方からの善意の寄附行為に対する相談窓口や体制を整備する必要もあると思うが如何か？</p>	
2 公共施設の管理について	<p>(1) 公共の構造物・施設の老朽化が進行する中、今後懸念される課題や問題点として何があるか？</p> <p>(2) 既存施設で各団体からの要望、また、不安箇所等の要望での手直し状況は？</p> <p>(3) 施設に応じた感染拡大防止の工夫、職員も含めた施設の関係者（市有施設）の感染予防に対する対応等、今回の体験を次に活かす取組みは？</p>	

No.	4	山根 祐二	
質 問 事 項			要 旨
1 学校のICT化等について	<p>(1) 国は昨年12月に「GIGAスクール構想」を立ち上げ、本市においても令和5年度を完了とする国の整備計画を大幅に前倒しするICT教育推進事業を予算化しており、令和2年度中にタブレット端末を児童生徒に一人一台配備して令和3年度からICT教育を一斉に開始する取り組みとなっている。しかし、新型コロナ禍で休業が続いたため、今、子供たちの学ぶ機会をどう確保するかが課題となっている。休業中の家庭学習の状況について伺う。</p> <p>(2) 文科省は4月21日にICTを活用した学習が有効だとし、家庭の端末やネット環境を借りてでも実施せよと全国に通知した。実施した自治体もあるが、地域によって取り組みの差があるとのことだ。コロナが終息するまでの今後の学ぶ機会の確保についてご所見を伺う。</p> <p>(3) 全国で多くの学校でイベントが中止となっているが本市の小中学校の状況はいかがか、代替え措置等、児童生徒の思い出づくりについてどのように考えているのか、ご所見を伺う。</p>		

No.	5	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
1	新総合計画について		<p>(1) どのような構成、章立てを考えているのか。</p> <p>(2) 今後の総合的な行政戦略を考えるうえで、現計画にある「時代の潮流」、時流の分析を記載することは必要ではないか。これに関連し、コロナ後、あるいはコロナ共生社会の視点が必要ではないか。</p> <p>(3) 地方自治法における基本構想の策定義務廃止に伴い、多くの行政計画では、基本構想に即する義務付けが廃止されたが、土地利用規制を含む行政計画では基本構想に即する条項が残されている。そのため、新総合計画でも、現計画にある「土地利用の基本的方針」を記載することは必要ではないか。</p>
2	庁舎建設基本設計のパブリックコメント実施結果について		<p>(1) 警察署の市庁舎敷地（1号館解体跡地）への移転の可能性について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 1号館解体跡地に警察署が移転すれば、警察署への車の出入は不便となり、道路交通上問題が生じると思うが、この点について、どう考えているのか。</p> <p>(3) 警察署の移転を県が決定するまで、立体駐車場の建設は留保し、1号館解体跡地を平面駐車場や他の用途に利用しても良いのではないか。</p>
3	災害対策について		<p>(1) 防災基本条例を制定すべきではないか。</p> <p>(2) 要配慮者利用施設における避難確保計画作成と訓練の実施が義務付けられているが、進んでいるのか。</p>

No.	6	曾我 好則
質問事項		要 旨
1	新型コロナウイルスを契機とした企業誘致について	<p>これまで製造業に関しては、海外に生産拠点を移すなどしてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、海外での製造中止や輸入制限によって、我が国経済に甚大な被害を及ぼしたことから、サプライチェーンの分断リスクを低減させる国内への生産拠点等の整備を推進することで、製品等の円滑な確保を図り、製造業等の強靱な経済構造の見直しを改めて認識したところである。</p> <p>このため、国においては、サプライチェーン対策のための国内投資促進事業として、生産拠点等を国内に整備する基金を新たに創設した。</p> <p>また、本市独自の工場等を設置した場合の制度として、工場等設置奨励金や雇用奨励金がある。</p> <p>ここでお尋ねするが、新型コロナウイルスを契機とし、海外から国内への生産拠点等の整備を考えている企業の誘致を推進していただきたいと考えるが、現在、防府テクノタウン及び第2テクノタウンの状況について伺う。</p> <p>企業を誘致するには、市としてのまちづくり、教育なども含めた環境の整備が必要と考えるが、市長のご所見を伺う。</p>

No.	7	和田 敏明		
質 問 事 項			要 旨	
1	防災について		(1) 新型コロナウイルス感染症防止への対応策について (2) 海拔表示について	
2	小・中学校における新型コロナウイルス感染症防止対策について		(1) 手洗い場の改善について (2) 熱中症対策について	

No.	8	清水 力志		
質 問 事 項			要 旨	
1	道の駅潮彩市場防府について		<p>元駅長がパワーハラスメントを受けた上、不当に解雇されたとして運営組合を相手取り、損害賠償と地位確認を求める訴訟を山口地裁に提訴したと新聞記事にあったが、その経緯を伺う。</p>	
2	降雨時の雨水対策について		<p>一時的な大雨が降ると用水路から水があふれ、道路や民家の庭などが浸水する場所が市内各地にあるが、その対策について伺う。</p>	
3	国民健康保険の傷病手当金について		<p>傷病手当金の対象は被用者（給料をもらっている人）となっているが、個人事業主も対象にならないか。</p>	
4	新型コロナ感染症拡大のなかでの雇用問題について		<p>(1) 雇用調整助成金について、市内の事業者からの相談、申請、決定、非該当などをどのように扱っているか。</p> <p>(2) 市として市内の企業に新型コロナ感染拡大を理由に、内定取り消しや従業員に退職を迫ること、また非正規労働者を雇い止めしないよう要請するべきだと思うが、いかがか。</p>	

No.	9	山本 久江	
質 問 事 項			要 旨
1	防災対策について		<p>コロナ危機のなかでの災害への備えをどのようにすすめていくのか、クラスターを生まない避難体制の確立について市の取組みを伺う。</p>
2	庁舎建設について		<p>パブコメでは、防府警察署の移転要望について反対の意見が多数寄せられているが、市民への説明会等を開催すべきではないか。</p>
3	子育て支援について		<p>(1) 新型コロナウイルス感染症に関する支援の特別定額給付金について、4月28日以降に生まれた新生児への対象拡大について</p> <p>(2) 子ども医療費無料化制度の中学生までの拡大について</p>

No.	10	高砂 朋子		
質問事項			要 旨	
1	母子保健事業の実施に係る新型コロナウイルス感染症への対応について		<p>(1) 「妊婦健康診査」「産婦健康診査」「乳幼児健康診査」「妊産婦保健指導」「乳幼児保健指導」「妊娠・出産包括支援」の各事業に係る新型コロナウイルス感染症への対応と今後の取組みについて伺う。</p> <p>(2) 今回の緊急事態宣言下に生まれた新生児への新たな支援について伺う。</p> <p>(3) 不妊治療を受けておられる世帯への助成である「いのちの誕生支援事業」、今回の感染予防や経済的な負担増のために治療の延期等を余儀なくされている夫婦への支援について伺う。</p>	
2	居住支援の充実について			<p>(1) 新型コロナウイルス感染症への対応として拡充された住居確保給付金の申請・支給状況と公営住宅の提供状況を伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による収入減等への対策として、市営住宅等入居者への家賃減免、徴収猶予等の支援について伺う。</p> <p>(3) 市営住宅募集における申込み状況と今後の取組みについて伺う。</p>

No.	1 1	吉村 祐太郎		
質 問 事 項			要 旨	
1	市役所の I T 化について		(1)	テレワーク等の導入について
			(2)	資料の保存方法等について
2	今後の地域の活動について			自治会等への感染症対策の啓発について

No.	1 2	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	緊急通報装置の設置事業について	<p>防府市が、高齢者や障害者などの急病等における緊急時の対応として実施している緊急通報装置の設置事業の現況と今後の取り組みについての考えは。</p>
2	公共工事の完成検査について	<p>大規模改修工事を行った市公会堂など公共工事における完成検査は、どのようなチェック基準で、誰が検査し、適正等を判断するのか。</p>

No.	13	石田 卓成	質問事項	要 旨
			1 市の農業政策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 主要穀物の自給率向上について</li> <li>(2) 遊休農地の解消及び職員体制の強化について</li> <li>(3) 事業継承について</li> <li>(4) 農家向け制度の周知について</li> <li>(5) 国の収入保険制度への掛金助成等について</li> <li>(6) 農機レンタルの仕組みの構築について</li> </ul>

No.	14	上田 和夫
質問事項		要 旨
1	中関方面から県立総合医療センターへの道路計画について	大崎橋から県立総合医療センターへ向かう新たな道路の必要性について、どのように考えているか。

